

学習課題（小学校5年生）



【国語】

〈学習内容〉

◆「大造じいさんとガン」（教科書 219～240 ページ）を学習します。

この学習では、すぐれた表現に着目して読み、物語のみりよくをまとめていきます。前回の学習課題で、「大造じいさんとガン」の物語のおおよその内容について学んだことを生かして、学習を進めていきましょう。

- (1) 219～237 ページを読んで、情景をえがいた表現を見付けてみましょう。その表現には、どんな心情が表れているでしょう。また、その表現がある場合とない場合とを比べて、表現の効果について、ノートや取組シートに書きましょう。



〈これまでの学習をいかして考えよう〉

情景とは、物語や詩において、登場人物の気持ちとひびき合うようにえがかれた風景や場面の様子のことです。たとえば、教科書 27 ページで学習した「なまえつけてよ」から、情景を考えてみます。

情景をえがいた表現	心情	表現の効果
明るい校庭	名前を付けられなかったけど、春花の〇〇な気持ちが分かる。	「明るい」という表現があることで、春花の～がより伝わる。

- (2) 一番印象に残った場面を選び、自分の感じたことが伝わるようにするためには、どのように朗読をしたらよいか、ノートや取組シートに書きましょう。そして、朗読しましょう。

（参考例 93 ページの「カレーライス」の場面の一部）

ぼくたちの特製カレーは、ぴりっとからくて、でも、ほんのりあまかった。

→ お父さんがひろしの成長を認めてくれたことから、少し高い声で、喜びをかみしめるようにゆっくりと朗読します。



238～239 ページの「朗読するとき」を読んで、表現を工夫するといいですね。そして、誰かに朗読をして、感想をもらうといいですね。

- (3) (1)で見付けた表現や(2)で選んだ場面など、これまでの学習を生かして、この物語で最も効果的に用いられていると感じた表現を選び、物語のみりよくについて、200字程度でノートや取組シートにまとめましょう。



239ページの「物語のみりよくをまとめた例」を参考にして、まとめてみるといいですね。

- (4) 239ページ「ふりかえろう」を読み、「大造じいさんとガン」の学習のふりかえりをノートや取組シートに書きます。

※朗読で行った工夫や、情景の効果、これから物語を読み、登場人物の心情を想像するときに注目したい表現など、「大造じいさんとガン」の学習を通して行ったことや考えたことを書きます。

- (5) 240ページ「たいせつ」を読んで、すぐれた表現に着目するために大切なことを確認しましょう。そして、「この本、読もう」にある物語や、動物や、動物と人との交流をえがいた物語を表現に着目して読んでみましょう。



266ページの「雪の夜明け」を読んでみるといいですね。情景がえがかれているところから、野うさぎの子の心情を想像したり、物語の山場を確かめ、結末について感想をもったかをまとめたりしましょう。

◆書写「様々な文字（書写の教科書44～51ページ）」を学習します。

- (1) 44～45ページを見て、都道府県漢字や平仮名、片仮名、ローマ字を正しく書いて、覚えましょう。
- (2) 46～47ページを見て、四年生で学習した漢字について、点画の書き方、文字の形、文字の組み立て方、筆順などを確かめながら、正しく書いて、覚えましょう。
- (3) 48～50ページを見て、五年生で学習した漢字について、点画の書き方、文字の形、文字の組み立て方、筆順などを確かめながら、正しく書いて、覚えましょう。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・「大造じいさんとガン」は、前回と今回の二つに学習課題を分けて学習しています。今回は、情景などの表現を見付けたり、一番印象に残った場面を選び朗読したりしながら、物語の魅力をまとめていきます。朗読では、物語について思ったり考えたりしたことが、聴く人に伝わるように工夫して読むことが大切です。朗読を聴いて感想を伝えてあげてください。物語の「魅力」のまとめについても、読んで感想を伝えてあげてください。
- ・書写「様々な文字」では、これまで学習してきた漢字、平仮名、片仮名、ローマ字を正しく書くことが大切です。誤字がないか確認してあげてください。